

瑞穂公園 管理運営方針

パークマネジメントプラン

公園の特性を生かした公園経営の推進

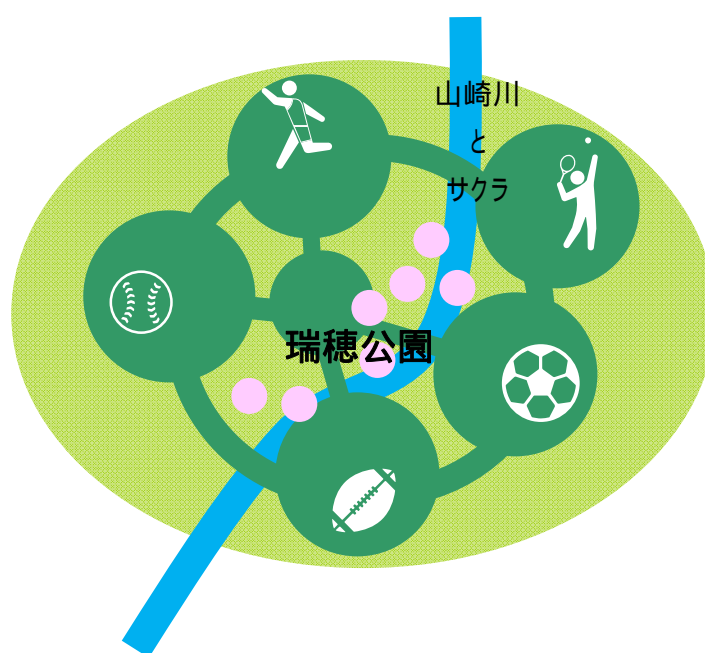
平成 26 年 8 月

名古屋市緑政土木局

瑞穂公園をめざす公園像

安全・安心で魅力的な総合運動公園

- ・ 市民がより安全・安心に利用できる施設として整備することにより、多くの市民の利用に供する公園。
- ・ 広域避難場所として、災害時に市民がより安全安心に避難できる公園。
- ・ 全国大会・国際大会を積極的に誘致し、にぎわいを創出することにより、スポーツを核とした地域の活性化をさせることのできる公園。



目次

基本事項	1
1.公園の概要	
1-1.瑞穂公園の概要	2
(1)概要	2
(2)管理主体	4
(3)行政計画上の位置づけおよび指定等	5
1-2.沿革	9
1-3.立地環境	10
(1)自然状況	10
(2)周辺状況	10
1-4.整備時の方針および内容	14
(1)整備当初の基本方針	14
1-5.施設状況	15
(1)施設概要	15
(2)利用時間および料金	23
(3)景観	24
1-6.利用状況	25
(1)利用実績	25
(2)にぎわい	25
(3)協働	26
1-7.公園の基本的な性格・役割	27
(1)特長の分析	27
(2)公園経営の現況評価	28
2.めざすべき姿と取り組みの方針	
2-1.公園がめざすべき姿	29
(1)めざす公園像	29
(2)瑞穂公園のイメージ	29
2-2.取り組みの方針	30
(1)公園経営の目標設定	30
(2)テーマ別特性	31
(3)維持管理の方針	32
(4)景観形成の方針	32
(5)運営管理の方針	32
(6)連携・協働の方針	32
(7)災害対応の方針	32
(8)再整備の方針	32

公園管理運営方針 基本事項

公園管理運営方針(パークマネジメントプラン)は、平成 24 年 6 月に公表された「公園経営基本方針」及び、平成 25 年 7 月に公表された「公園経営事業展開プラン」に基づき、今後 10 年程度を計画期間として公園の管理運営の方針等を定めるものです。

この方針では、瑞穂公園の性格、役割、立地条件や公園としてのあゆみ、利用者の動向などを踏まえて、めざす公園像を設定し、その実現にあたっての取り組みの方針を定めました。

管理者、利用者、事業者等は、このプランで示す各方針に即して、本公園における管理運営や利活用の促進を、それぞれの立場で行っていくものとします。

なお、本方針については、マネジメントサイクルで行う評価の結果や、周辺の都市基盤整備状況、技術動向、財政見通しなど社会経済情勢の変化等により対応が必要となった場合には、適宜見直しを行っていくものとします。

「名古屋市の公園経営」とは...

従来の行政主導による維持管理中心の公園管理から脱却し、利用者志向、規制緩和等による市民・事業者の参画の拡大、多様な資金調達とサービスへの還元、経営改善手法の導入など、公園の利活用の発想により公園の経営資源を最大限に活用していく新たな管理運営の考え方です。

名古屋市においては、市民ニーズを考慮した公園経営を第一とし、公園を「市民の資産」としてとらえ、多くの人々の関わりの中で、市民全体が公園経営の成果を享受できるように「管理する資産」から「経営する資産」へと公園の管理運営のあり方を大きく変革していくものです。



市民・事業者・行政の Win-Win の関係

1. 公園の概要

1-1. 瑞穂公園の概要

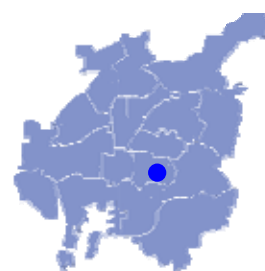
(1) 概要

開園年度	昭和 16 年
都市公園法による設置	昭和 31 年 10 月 15 日
公園面積	24.46ha
所在地	名古屋市瑞穂区萩山町 3 丁目、4 丁目、師長町、山下通 5 丁目、豊岡通 3 丁目、田辺通 3 丁目、4 丁目
公園種別	運動公園
都市計画決定	年度 昭和 22 年 5 月 6 日 番号 6.5.1 号 面積 30.6ha

瑞穂公園平面図



【位置】



位置図

【交通】

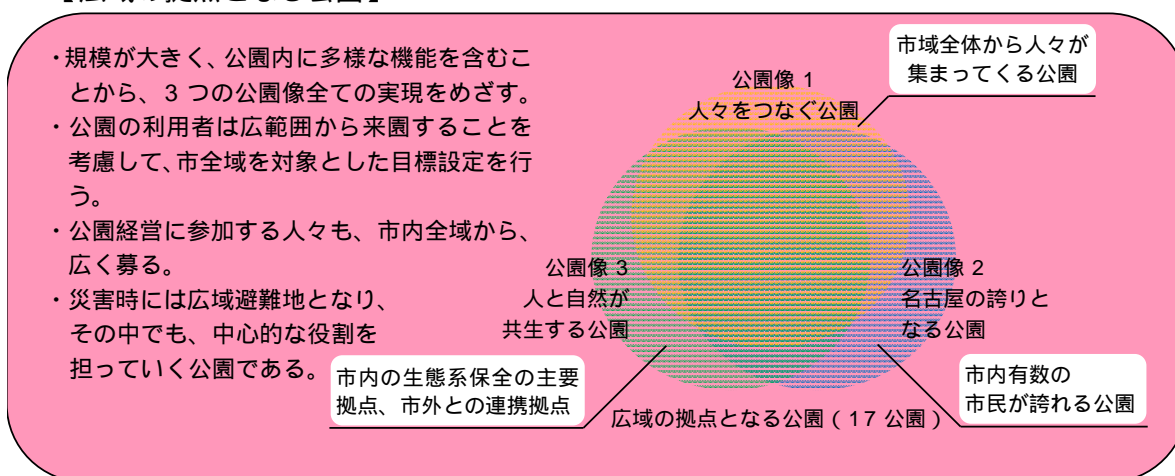
地下鉄	名城線	「瑞穂運動場東」駅
	桜通線	「瑞穂運動場西」駅
市バス(系統)	栄 20	「瑞穂公園」「石田町」
	栄 20	「田辺通四丁目」「瑞穂運動場東」
	金山 14	「瑞穂運動場東」
	金山 15	「瑞穂ランド」
	金山 16	「田辺通四丁目」「瑞穂運動場東」
	瑞穂巡回	「瑞穂ランド」
	神宮 11	「瑞穂運動場西」「弥富通一丁目」

(3)行政計画上の位置づけおよび指定等

広域の拠点となる公園

事業展開プランの中で、公園の面積規模や公園利用者の広がり considering 3つに分類された公園体系のうち、「広域の拠点となる公園」として位置づけられている。「広域の拠点となる公園」(市内17公園)とは、規模が大きく、広範囲(市内及び市外)の利用者が見込まれる総合公園、運動公園、特殊公園を指している。

【広域の拠点となる公園】



名古屋市公園経営事業展開プラン (H25.7)

広域避難場所

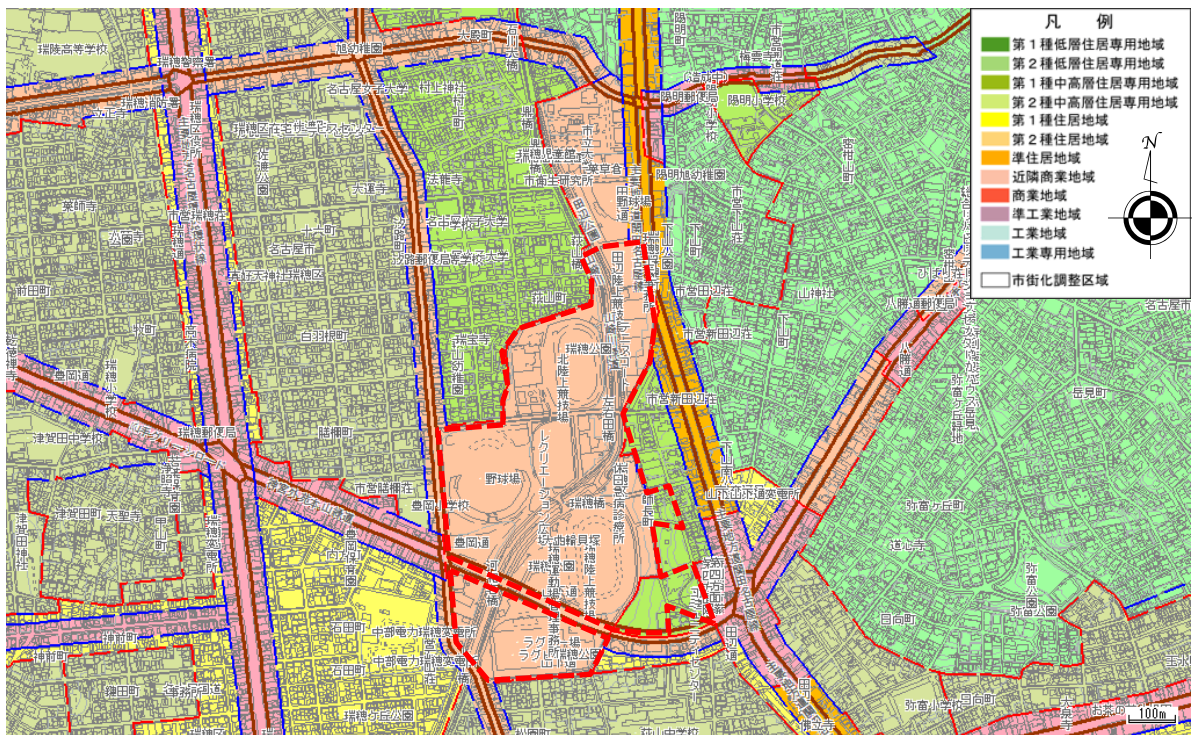
名古屋市地域防災計画の中で、瑞穂公園は広域避難場所として指定されている。広域避難場所とは、主として地震火災が延焼拡大した場合に、周辺地域からの避難者を収容し、避難者の生命を保護するための場所である。



避難所マップ

用途地域

瑞穂公園は、第2種住居地域に位置し、東は第1種低層住居占用地域、西は第1種中高層住居占用地域となっている。



用途地域図

史跡

公園内には、右図のように、3つの遺跡が指定されている。



瑞穂区遺跡分布図

遺跡番号	遺跡名称	出土遺物 / 時代
11-25	大曲輪遺跡	縄文土器、石器、人骨 / 縄文
11-26	瑞穂グランド遺跡	須恵器、古瓦等 / 奈良～鎌倉
11-29	瑞穂2号墳	直径30m、高5m程の円墳 / 古墳

史跡散策路

瑞穂区の史跡散策路の「貝塚と城あとをしのぶみち」は、瑞穂公園を通過して、周辺を回るルートとなっている。

史跡散策路 貝塚と城あとをしのぶみち 瑞穂区



史跡散策路マップ

1-2.沿革

昭和 12 年(1937 年)9 月 ~	市会の議決を経て、瑞穂公園を運動公園として整備することを決定
昭和 16 年(1941 年)12 月	陸上競技場が一般供用される。(主観覧席は未完成) 瑞穂公園の用地の大部分が瑞穂耕地整理組合、弥富土地区画整理組合及び弥富南部土地区画整理組合から寄付(移管)される。
昭和 23 年(1948 年)頃 ~	第二次大戦後、名古屋市を中心とする第 5 回国民体育大会が開催されることになり、周辺地約 1 万坪を買収。
昭和 24 年(1949 年)8 月 1 日	主競技場の改築、補助競技場、ラグビー場、駐車場、橋梁、道路を整備
昭和 25 年(1950 年)10 月 7 日	完成 陸上競技場は第一種公認の 400mトラック、鉄骨鉄筋コンクリート造りの 3 階建ての観覧席をもち、南端には高さ 42m(9 階建て)のマラソン塔を擁していた。
10 月 ~ 11 月	第 5 回愛知県国体開催
昭和 32 年(1957 年)6 月	本格的な野球場が整備され、34 年 9 月にはスタンドも建設された
昭和 37 年(1962 年)3 月	ラグビー場東側に弓道場(和弓)を設置。(昭和 43 年 10 月に洋弓場も併設) 瑞穂公園は、建設の前期は復興局で、後期は土木局で整備が行われ、昭和 30 年代には運動公園として概成した。
昭和 39 年(1964 年)4 月 1 日	スポーツ施設の運営管理が中心となる理由から、教育委員会に移管される。その後、教育委員会で庭球場(昭和 45 年 1 月に 6 面)、A 級公認プール(昭和 42 年 6 月)、相撲場(昭和 49 年 3 月)及び田辺陸上競技場(昭和 54 年 3 月)を設置
平成 2 年(1990 年) ~平成 6 年(1994 年)	ラグビー場、野球場、北陸上競技場、陸上競技場等を改修。レクリエーション広場、ラグビー練習場、地下駐車場を設置。
平成 6 年(1994 年)10 月 ~ 11 月	わかしゃち国体開催
平成 18 年(2006 年)4 月 ~	指定管理制度導入

1-3.立地環境

(1)自然状況

縄文時代（約 1 万年前）には、山崎川が瑞穂公園付近で海に流れ込んでいたが、その後の海面低下と土砂の堆積により河口が南に下がり、江戸時代の新田開発とともに山崎川が人工的に延長されてできた地域である。

(2)周辺状況

名古屋中心部から東南 5km に位置する。周辺は閑静な住宅街に囲まれ、公園の中心を山崎川が斜めに横断する。瑞穂公園は、この山崎川と各道路により大きく 6 つのブロックに分かれている。

公園周辺は、まとまった緑地、山崎川や宅地の緑など、都市の中における比較的緑の多い環境となっている。



周辺状況図



航空写真

【山崎川】

平成 22 年 1 月 二級河川山崎川水系河川整備計画

山崎川の桜は、1928 年（昭和 3 年）に耕地整理組合によって植樹されたものであり、「四季の道」と呼ばれ親しまれている。また「日本さくらの名所 100 選」にも選ばれている。

河川整備の基本理念

基本理念：私たちのまちにある、水と緑のふるさとの川。

基本方針：
大雨につよい川づくり
人と街をうるおす川づくり
生きものを育む川づくり

を地域と行政が協力して進めます。

河川の整備と保全に関する目標

自然環境に関する目標：動植物の生息・生育に配慮した川づくり、外来種などの棲息域拡大防止

動植物の良好な棲息、生育環境の保全、再生については、多様な動植物の棲息、生育環境を保全するとともに、落差工の改善やコンクリート三面張の改善など、さらなる自然環境の再生、創造に努める。

水質に関する目標：さらなる水質の改善

河川の利用状況、生物の生息、生育環境等を考慮し、雨水滞水池の設置や雨水吐の改善など、下水道関連事業や関連機関との連携や調整、地域住民との連携に努め、よりいっそうの水質の改善を図る。

親水に関する目標：安全に水辺に近づけるような川づくり

豪雨時の親水空間における安全性に配慮しつつ、川辺の散策路や水辺に近づく施設の整備など、日常生活の中で市民が水辺とふれあうことができるような川づくりをめざす。

景観に関する目標：良好な河川景観の形成

河川の植生の保全、育成や眺望ポイントの整備など、地域住民に親しまれる良好な河川環境の維持・保全に努める。

水辺と安全にふれあえる場の維持・形成

日常生活の中で、市民が水辺とふれあうことができるような川づくりのため、利用しやすい施設の整備、局地豪雨に対する安全対策、地域住民との協働等に努める。

良好な景観の維持・形成

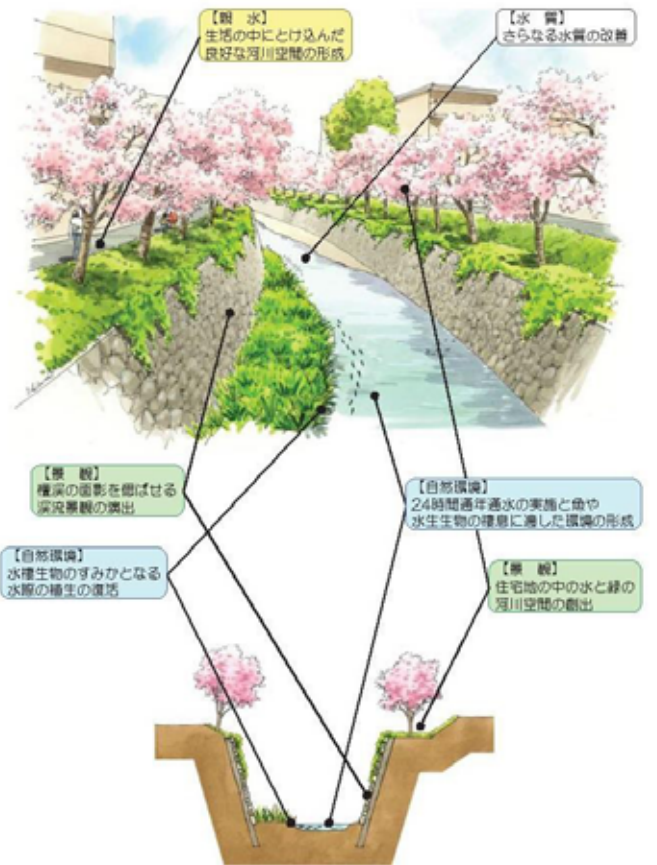
地域住民に親しまれる良好な河川景観の維持、保全のため、サクラ並木や四季を楽しむ植生の適正な管理、ゴミ投棄の防止、景観に配慮した施設整備などに努める。

整備コンセプト



瑞穂公園付近は、サクラ並木に沿った落ち着いた雰囲気の水辺の散策路の形成

整備イメージ



1-4. 整備時の方針および内容

(1) 整備当初の基本方針

瑞穂公園は、1-2. 沿革の項で示したとおり、段階的に整備されており、公園全体としての基本構想や基本計画等の資料がなく、当初の整備テーマやコンセプトは不明である。

〔平成 6 年度 瑞穂運動場総合整備基本設計(名古屋市建築局)〕

- 1) 緑と水に囲まれた自然環境と調和した都市型運動公園とする。
- 2) 道路・河川によって各ブロックが分断された敷地を連絡橋で結ぶことにより、公園全体に有機的な連続性を与える。
- 3) 公式大会をはじめ、各種競技会開催のための要件を満たすとともに、日常の一般利用および近隣利用にも十分対応できる施設とする。

1-5.施設状況

(1)施設概要

園内施設：総合運動公園として、各ブロックに中心となるスポーツ施設が点在するほか、小公園、広場が周囲に配置されている。



瑞穂公園平面図

瑞穂運動場（施設一覧参照）

東児童園、南児童園、北児童園、こども広場、緑陰広場、やすらぎ広場、水の広場、東小広場、山ももの丘、大曲輪塚、松並木散策路、南連絡橋、北連絡橋

山崎川親水公園

瑞穂文化小劇場・瑞穂図書館

瑞穂運動場

瑞穂運動場は、'94「わかしゃち国体」のメイン会場にもなった陸上競技場を始め、ラグビー場、野球場、テニスコート、相撲場、弓道場、アーチェリー場などの各種スポーツ施設が配置されている。これらの施設は身近な生活圏におけるスポーツ施設として利用される一方、全国的・国際的競技大会の開催が可能な拠点施設としても重要な役割を担っている。

敷地面積 33,386.88 m²、延床面積 12,856.89 m²

駐車台数 808 台（6 箇所・有料）

【施設一覧】

陸上競技場(第一種公認)		
竣工	昭和 16 年 2 月、平成 6 年 5 月(改修)	
所在地	名古屋市瑞穂区山下通 5 丁目 1 番地	
施設面積	敷地面積 33,386.88 m ² 建築面積 5,568.90 m ² 延床面積 12,856.89 m ² スタンド面積 12,409.06 m ²	
トラック	全天候舗装 400m 8 コース 直線長さ 80.00m 曲線部半径 37.898m 障害物コース 3,000m	
フィールド	ティフトン芝 冬芝(ペレニアルライグラス)オーバーシーディング 106m×71m	走幅跳、三段跳、棒高跳、走高跳、槍投げ、砲丸投げ、円盤投げ、ハンマー投げ、サッカー
スタンド	メインスタンド 9,000 人 バックスタンド 18,000 人 障害者席 50 人	
施設内容	夜間照明設備 1,500 ルクス 大型映像装置 炬火台 役員室 本部室 記録室 放送室 審判員室 報道関係室 貴賓室 応接室 医務室 会議室 選手控室 更衣室 3 階司令室 3 階放送室 写真判定室 軽食堂 器具庫 トレーニングルーム 有料駐車場(第 2 駐車場)82 台(うち車イス使用者用 4 台)	
北陸上競技場(第三種公認)		
竣工	昭和 25 年 10 月、平成 5 年 5 月(移転改築)	
所在地	名古屋市瑞穂区萩山町 3 丁目 68 番地の 1	
施設面積	敷地面積 19,820.82 m ² 建築面積 739.66 m ² 延床面積 1,901.15 m ² スタンド面積 849.51 m ²	
トラック	全天候舗装 400m 8 コース 直線長さ 80.00m 曲線部半径 37.898m 障害物コース 3,000m	
フィールド	天然芝(高麗芝) 102m×69m	走幅跳、三段跳、棒高跳、走高跳、槍投げ、砲丸投げ、円盤投げ、ハンマー投げ、サッカー
スタンド	メインスタンド 1,500 人 サイドスタンド芝席 1,500 人 障害者席 10 人	
施設内容	電光掲示板(磁気反転式) 本部室 記録室 医務室 審判員室 役員室 放送室 更衣室 器具庫 写真判定室	
田辺陸上競技場		
竣工	昭和 54 年 3 月、平成 6 年 6 月(改修)	
所在地	名古屋市瑞穂区田辺通 3 丁目 2 番地	
施設面積	敷地面積 7,541.31 m ²	
施設内容	多目的運動広場 1 面	ソフトボール、サッカー、ラグビー等の練習、運動会
レクリエーション広場		
竣工	平成 6 年 5 月	
所在地	名古屋市瑞穂区萩山町 4 丁目 1 番地	

施設面積	敷地面積 11,326.71 m ² 建築面積 228.90 m ² 延床面積 228.90 m ² 芝スタンド面積 250.00 m ² 照明塔 33.20m
フィールド	面積 8,928.27 m ² クレイ舗装仕上げ
トラック	300m 6 コース
スタンド	芝スタンド 600 人
施設内容	電気室 車椅子用スロープ 3 箇所 有料駐車場 444 台(第 1(地下)駐車場)(うち車イス使用者用 9 台)
ラグビー場	
竣工	昭和 25 年 10 月、平成 2 年 3 月(改築)
所在地	名古屋市瑞穂区山下通 5 丁目 4 番地
施設面積	敷地面積 26,000.00 m ² 建築面積 3,160.35 m ² 延床面積 6,080.84 m ² スタンド面積 6,080.84 m ²
グラウンド	ティフトン芝 冬芝(ペレニアルライグラス)オーバーシーディング 135m×80m
スタンド	メインスタンド 6,500 人 バックスタンド 5,400 人 東サイドスタンド 1,600 人 西サイドスタンド 1,500 人 障害者席 18 人
施設内容	夜間照明設備 500 ルクス 大型映像装置(平成 25 年度中に設置予定)本部室 審判室 記者室 医務室 会議室 放送室 応接室 貴賓室 更衣室 浴室 チケット売場 有料駐車場(第 3 駐車場)100 台(うち車イス使用者用 4 台)
ラグビー練習場	
竣工	平成 6 年 5 月
所在地	名古屋市瑞穂区山下通 5 丁目 4 番地
施設面積	敷地面積 5,485.94 m ²
施設内容	ロングパイル人工芝 2,400 m ² (60m×40m)H26 改修予定
野球場	
竣工	昭和 32 年 6 月、平成 3 年 3 月(改築)
所在地	名古屋市瑞穂区豊岡通 3 丁目 28 番地
施設面積	敷地面積 26,079.41 m ² 建築面積 2,157.80 m ² 延床面積 6,407.47 m ² スタンド面積 3,498.12 m ²
グラウンド	ロングパイル人工芝(内野一部アンツーカー)14,411.06 m ² 両翼 99.1m センター122m
スタンド	内野スタンド 6,000 人 外野スタンド芝席 12,600 人
施設内容	夜間照明(平均照度内野 1,000 ルクス・外野 500 ルクス・バッテリー間 1,500 ルクス) 会議室 医務室 スコアボード(磁気反転式) 事務室 本部室 審判控室 放送室 記者室 整備員室 審判室 電気室 ポンプ室 更衣室 切符売場 ベンチ 有料駐車場(臨時駐車場)118 台(うち車イス使用者用 2 台)

相撲場	
竣工	昭和 49 年 3 月、平成 5 年 5 月(移転改築)
所在地	名古屋市瑞穂区萩山町 3 丁目 68 番地の 1
施設面積	敷地面積 170.82 m ² 建築面積 122.54 m ²
施設内容	屋形付土俵 1 面 練習場 スタンド 更衣室
スタンド	255 人
宿泊研修棟	
竣工	平成 5 年 5 月
所在地	名古屋市瑞穂区萩山町 3 丁目 68 番地の 1
施設面積	敷地面積 1,933.68 m ² 延床面積 4,011.91 m ²
弓道場	RC 平屋建て 建築面積 748.85 m ² 延床面積 708.60 m ² 近的 28m 10 人立 夜間照明 更衣室
アーチェリー場	建築面積 235.20 m ² 50m・30m 10 人立 夜間照明 更衣室
温水プール	延床面積 975.78 m ² (プール室のみ)シャワー室 採暖室 ギャラリー 更衣室 練習用 25m×5 コース(水深 1.1m～1.3m) 学 童用 25×1 コース(水深 0.8m～1.0m) 幼児用 10m×5m(水深 0.3m～0.45m)
練習プール (屋外)	建築面積 205.02 m ² 延床面積 213.28 m ² 練習用 25m×7 コース(水深 1.1m～1.3m) 学童用 15m×10m(水深 0.9m～1.1m / 滑り台付) 幼児用 95 m ² (水深 0.35m～0.5m / 円型 / 滑り台付) シャワー室 更衣室
トレーニング室	延床面積 427.00 m ² トレーニング器具(52 種類 128 点)体力測定室 相談室 シャワー室 更衣室
宿泊研修室	延床面積 837.05 m ² 10 畳(5 人)×10 室、20 畳(10 人)×2 室 宿泊定員 70 人 ミーティングルーム 浴室 洗濯室等
有料駐車場 宿泊研修棟北	第 4 駐車場 46 台(うち車イス使用者用 3 台)
テニスコート	
竣工	平成 7 年 6 月(改築)
所在地	名古屋市瑞穂区田辺通 4 丁目 5 番地
施設面積	敷地面積 9,035.82 m ² クラブハウス 建築面積 246.49 m ² 延床面積 226.69 m ²
施設内容	硬式・軟式両用コート 9 面(砂入人工芝コート) 夜間照明設備 9 面(300 ルクス) 更衣室 会議室 有料駐車場 (第 5 駐車場) 18 台(うち車イス使用者用 2 台)
スタンド	1,000 人

広場等

緑と水に囲まれた都市型運動公園を目指して、それぞれ独自の性格を持たせた小公園・広場が整備されている。

【陸上競技場周辺エリア】

緑陰広場・・・陸上競技場裏山の既存の緑地を生かした遊歩道。四阿、ベンチ、照明灯等を配置した散策を楽しめる小径。
(四阿、ベンチ、遊歩道)

東児童園・・・敷地の高低差を利用して斜面の岩登りや冒険砦などを設置し、子供たちが身体を使って活発に遊ぶことの出来る広場。
(スーパースロープ、冒険小屋、砦とブリッジ、岩登り、ブランコ、すべり台、砂場、ベンチ、水飲場、ジャンボテーブル、屋外便所、時の鐘)

こども広場・・・ソフトボール程度の球技が楽しめる児童用の広場。
(ソフトボール場 1 面)

陸上競技場前面広場・・・瑞穂運動場の玄関にふさわしい広場としてモニュメントやオブジェ、池、壁泉等を設置し、人々を自然に導入できる形態の広場。
(壁泉(連絡橋スロープの壁面利用)、池、光るボール、オブジェ、駐車場、車寄せ)

【野球場周辺エリア】

レクリエーション広場・・・旧北陸上競技場を、市民の憩いの場として、季節的なイベントも開催できる公園の広場として改修整備した広場。

南児童園・・・幼児から児童まで利用可能な遊具を設置した児童公園。
(大地(地球)とトンネル、ロングロング飛び石、巨大ジャングルジム、埋もれる玉、ロングすべり台、砂場、ブランコ、ベンチ、水飲場、便所)

花の広場・水の広場・・・野球場前の広場として、花壇、噴水と各々特色を持たせた広場。

[水の広場]噴水(環状列柱に囲まれた)、ベンチ

[花の広場]円形花壇、パーゴラ、ベンチ

【プール周辺エリア】

やすらぎ広場・・・高齢者から身障者まで幅広く楽しめる広場。ゲートボール場、花壇、ベンチ、香木園を設置し、花と緑に親しめる広場。

（ゲートボール場1面、香木園、花壇、ベンチ、時計塔）

松並木散策路・・・既存の松林を極力保存して整備した散策路。

【ラグビー場周辺エリア】

ラグビー場前面広場・・・陸上競技場へのアプローチ広場であるが、スロープを円形に配置して、中心にモニュメントを設置し、新瑞橋駅からのアクセスポイントまたは待ち合わせの場所となる広場。

【田辺陸上競技場周辺エリア】

北児童園・・・当初より整備されていた施設内容を充実させ、再整備を行った児童公園。

山崎川親水広場

山崎川は、「ふるさとの川整備」に基づく親水空間の整備が行われている。左右田橋、瑞穂橋、可和名橋によって公園内をつないでいる。瑞穂橋と左右田橋の間は山崎川親水広場となっており、川の方に降りることができる。川の深さは浅く、小さな子でも遊べるようになっており、滝があり、滝の上部分で水遊びができるような整備がされている。



瑞穂文化小劇場・瑞穂図書館

社会福祉会館跡地に瑞穂文化小劇場および瑞穂図書館が建設される。平成 25 年 10 月 15 日に着工し、平成 27 年に開館予定である。

【所在地】名古屋市瑞穂区豊岡通 3 丁目 29 番地

【施設概要】

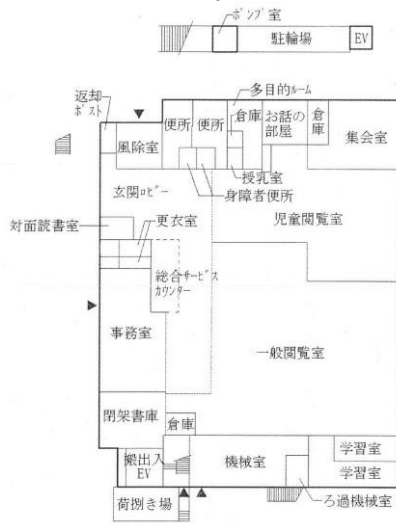
ホール 客席：351 席（車椅子席：2 席を含む）
315 席 + 車椅子 9 席に変更可能
練習室、楽屋（2 室）

【特長】

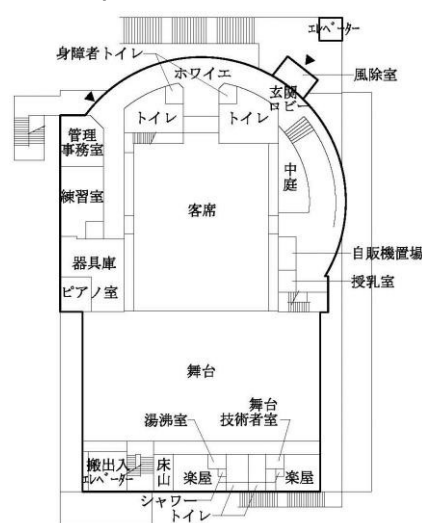
- ・幅 13m×奥行 13m の舞踊・演劇向け舞台
- ・山崎川の景観を眺望できる半円形ホワイエ
- ・環境への配慮（既存樹木の最大限維持等）



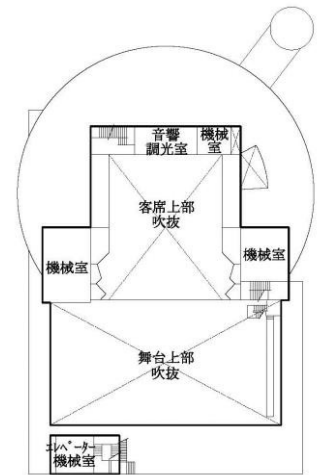
配置図



1F 図書館



2F 文化小劇場



3F 文化劇場

(2) 利用時間および料金

施設名	使用料		受付場所
陸上競技場	午前: 51,000 円 午後: 51,000 円 夜間: 64,000 円	会議室: 2,300 円(1 回) 照 明: 5,900 ~ 23,400 円(10 分間)	瑞穂運動場 管理事務所 管理第一係 TEL 836-8200 FAX 836-8206
北陸上競技場	午前: 23,000 円 午後: 23,000 円	個人利用: 1 回券 大人 200 円 小人 100 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 100 円 回数券(11 枚綴) 大人 2,000 円 小人 1,000 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 1,000 円	
田辺陸上競技場	午前: 3,400 円 午後: 3,400 円		
レクリエーション 広場	午前: 4,600 円 午後: 4,600 円		
ラグビー場	午前: 40,000 円 午後: 40,000 円 夜間: 50,000 円	会議室: 大室 2,700 円(1 回) 小室 2,300 円(1 回) 照 明: 2,300 ~ 11,400 円(10 分間)	
ラグビー練習場	午前: 2,300 円 午後: 2,300 円		
野球場	午前: 23,000 円 午後: 23,000 円 夜間: 28,000 円	会議室: 2,300 円(1 回) 照 明: 600 ~ 1,800 円(10 分間)	瑞穂運動場 管理事務所 管理第二係 TEL 836-8210 FAX 836-8211 ただし、テニスコート TEL 836-8220
相撲場	午前: 5,700 円 午後: 5,700 円		
弓道場・アーチェ リー場	午前: 3,100 円 午後: 3,100 円 夜間: 5,200 円	個人利用: 1 回券 大人 午前 200 円 午後 200 円 夜間 300 円 高齢者 午前 100 円 午後 100 円 夜間 100 円 小人 午前 100 円 午後 100 円 夜間 100 円 回数券(11 枚綴) 大人 午前 2,000 円 午後 2,000 円 夜間 3,000 円 高齢者 午前 1,000 円 午後 1,000 円 夜間 1,000 円 小人 午前 1,000 円 午後 1,000 円 夜間 1,000 円	
テニスコート	1 面あたり 2 時間 1,000 円	会議室: 1,300 円(1 回) 照 明: 170 円(30 分間)	
屋内プール	2 時間 13,000 円	個人利用: 1 回券 大人 500 円 小人 200 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 100 円 回数券(11 枚綴) 大人 5,000 円 小人 2,000 円 回数券(25 枚綴) 大人 10,000 円 小人 4,000 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 2,000 円 定期券(1 月) 大人 4,000 円 小人 2,000 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 1,300 円 定期券(1 年) 大人 32,000 円 小人 16,000 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 10,600 円	
練習プール	2 時間 12,000 円	個人利用: 1 回券 大人 300 円 小人 100 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 100 円 回数券(11 枚綴) 大人 3,000 円 小人 1,000 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 1,000 円	
トレーニング室		個人利用: 1 回券 大人 300 円 小人 100 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 100 円 回数券(5 回) 大人 1,000 円 小人 400 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 300 円 定期券(1 月) 大人 1,600 円 小人 800 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 500 円 定期券(1 年) 大人 12,800 円 小人 6,400 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 4,200 円	
宿泊研修室		1 人 1 泊: 大人 1,600 円 小人 800 円 高齢者(市内在住 65 歳以上) 500 円(シーツ代含む)	
駐車場		1 日 1 回 1 回 普通 500 円 大型 2,000 円 回数券 普通 5,000 円(11 回) 普通 10,000 円(25 回) 普通 15,000 円(50 回)	

(3) 景観

- ・景観軸の山崎川は、サクラの名所となっている。
- ・サクラの時期、周辺道路や山崎川とのつながりで賑わう。競技場を背景とした桜も写真撮影スポットになっている。
- ・木の 1 本 1 本が大きく成長し、景観の特徴となっている。
- ・公園内や付近に、文化財、歴史的資源が多数ある。(下内田貝塚、瑞穂 2 号古墳、塩付街道、あゆちの水)
- ・競技場の意匠が良好な景観要素となっている。

彫刻

作品名	作家名	設置年	設置場所
日比野寛先生	片岡静観	S.41.5	陸上競技場前
勝利への門一競	石黒鏘二		陸上競技場南
聖火	野々村一男 遠山静観		やまもの丘
夢少女	長房一洋	H25.4	宿泊研修棟中庭

1-6.利用状況

(1)利用実績

平成 24 年度実績（単位：人）

施設名	利用者数	施設名	利用者数	施設名	利用者数
陸上競技場	469,878	野球場	206,360	練習プール	25,376
北陸上競技場	170,947	相撲場	1,553	トレーニング室	78,802
田辺陸上競技場	16,630	弓道場	10,027	宿泊研修室	2,937
レクリエーション広場	106,340	アーチェリー場	8,805	会議室	8,073
ラグビー場	104,860	テニスコート	76,134		
ラグビー練習場	15,550	屋内プール	64,250	合計	1,366,522

(2) にぎわい

- ・ レクリエーション広場では、瑞穂区民まつりが行われている。
- ・ 東児童公園では、弥富コミュニティセンターのまつりが行われている。
- ・ 東児童公園の一部で、ふれあいまつり（お茶会）が行われている。
- ・ 南児童公園では、周辺の保育園の夏祭りおよび運動会が行われている。
- ・ ランニングの競技会が年 1 回開催され、公園内をウォーミングアップに使っている。

(3) 協働

【ボランティアなど】

瑞穂公園内の愛護会はないが、鯨城会（鯨城学園 OB の会、約 30 名）、個人ボランティア（登録者約 10 名）による清掃活動が行われている（陸上競技場、野球場南側、山崎川の一部、やすらぎ広場）。

街路樹愛護会としては、「山崎川四季の道」等が活動している。また、大谷高校が山崎川の調査と緑道の除草活動をしている。

名古屋建設業協会が不定期に清掃活動を行っている。

区の保護司会が、保護観察の方の社会活動の一環として不定期に清掃活動を行っている。

【ボランティアアンケート】（平成 25 年 11 月～12 月実施）

1) 瑞穂公園の魅力について

- ・ 樹木、鳥が多い
- ・ 各種スポーツ施設など多様な施設がある。
- ・ 山崎川の桜が美しく、散策によい。
- ・ 市民の憩いの場となっている。
- ・ 交通の便が良い

2) 瑞穂公園にのぞむこと

- ・ 山崎川をもっと浄化したい
- ・ 高齢者が楽しく集える場所にしたい
- ・ 自然と共生し、親しみのある区民の憩いの場にしたい

1-7.公園の基本的な性格・役割

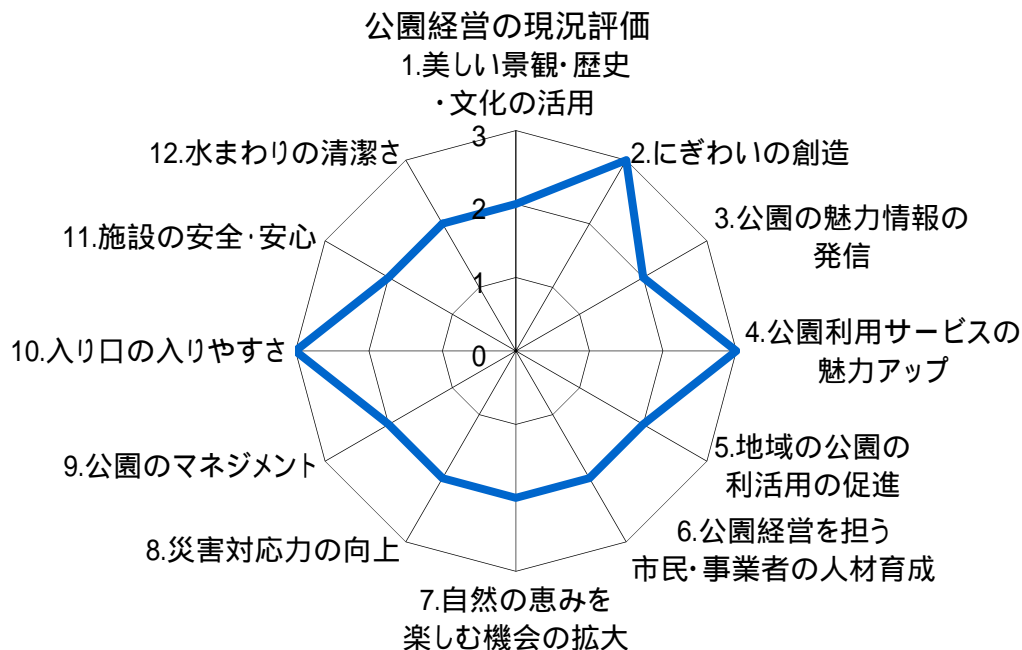
(1) 特長の分析

分析ポイント

歴史・文化	瑞穂文化小劇場や瑞穂図書館等の文化施設がある。園内に遺跡（大曲輪遺跡等）や古墳があり、かつての塩付街道に面している。
景観	山崎川、サクラ等の景観ポイントがある。
にぎわい	Jリーグ公式戦等のスポーツイベントの開催。 各児童園が区民まつり等に利用されている。
地域の庭	サクラ、香木園、花壇等が地域に親しまれている。
自然の恵み	山崎川、サクラ等
遊具	児童園に遊具が設置されている。
スポーツ施設	全国的・国際的競技会の開催が可能な拠点施設として重要な役割を担っている。昭和 25 年、平成 6 年の国民体育大会主会場となった。
災害対応力	広域避難場所に指定されている。
活動団体	活動しているボランティア団体が複数ある。
民間活力導入状況	広告の設置や自販機が設置されている

(2) 公園経営の現況評価

公園経営の現況評価	
評価基準	
評価0	-
評価1	部分的に不足している
評価2	標準的なレベルに達している
評価3	積極的に取り組んでいる、高い評価を得ている



【瑞穂運動競技場の役割】

名古屋市全体の総合的なスポーツ推進の拠点

大都市圏の中核都市にふさわしい総合的・専門的スポーツ施設であり、アマチュアスポーツやプロスポーツを問わず各種の競技大会やイベント、興行など市民のスポーツ及びレクリエーションの振興に寄与することを目的とした施設である。また、市域における国際的・全国的な競技大会を開催する施設として、スポーツ・レクリエーション団体と連携協力し、国際的・全国的な競技スポーツの拠点としての役割を果たしている。

地域スポーツ推進の拠点

名古屋市体育館条例（昭和 26 年名古屋市条例第 54 号）により設置する各スポーツセンターと同様に地域におけるスポーツ推進の拠点として、多様化する市民ニーズに対応したスポーツ事業を企画実施するなど地域スポーツ振興の重要な役割を果たしている。

運動・スポーツ実施率の向上

「名古屋市スポーツ推進計画」の基本目標として、スポーツの楽しさ・意義への気づきを促進し、スポーツに親しむきっかけをつくることや、いつでも、どこでも、だれとでも、気軽にスポーツを楽しむことができるよう機会・場を提供することなどを掲げており、実施率(週1)^()が低い年代の実施頻度を上げ、実施率(週1)を 65%以上とすることを目標としている。

週1回以上の頻度で運動・スポーツをする率

2.めざすべき姿と取り組みの方針

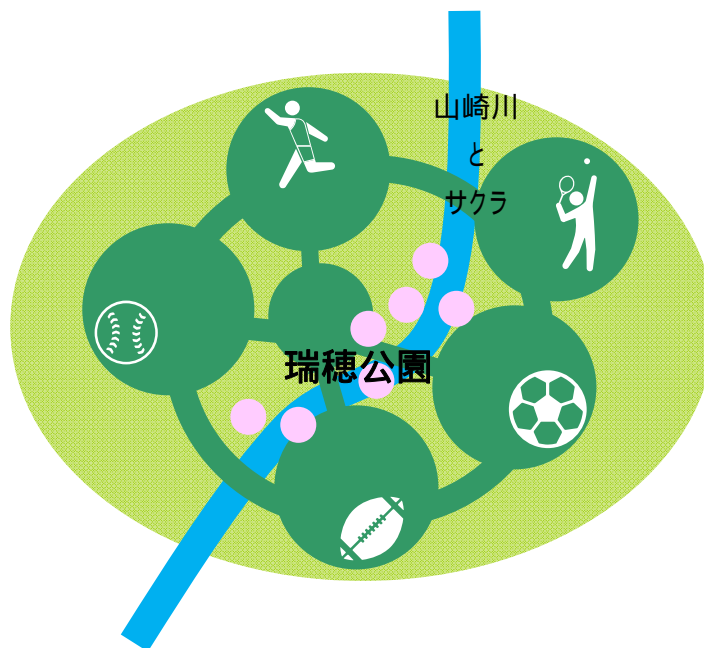
2-1.公園がめざすべき姿

(1)めざす公園像

安全・安心で魅力的な総合運動公園

- ・ 市民がより安全・安心に利用できる施設として整備することにより、多くの市民の利用に供する公園。
- ・ 広域避難場所として、災害時に市民がより安全安心に避難できる公園。
- ・ 全国大会・国際大会を積極的に誘致し、にぎわいを創出することにより、スポーツを核とした地域の活性化をさせることのできる公園。

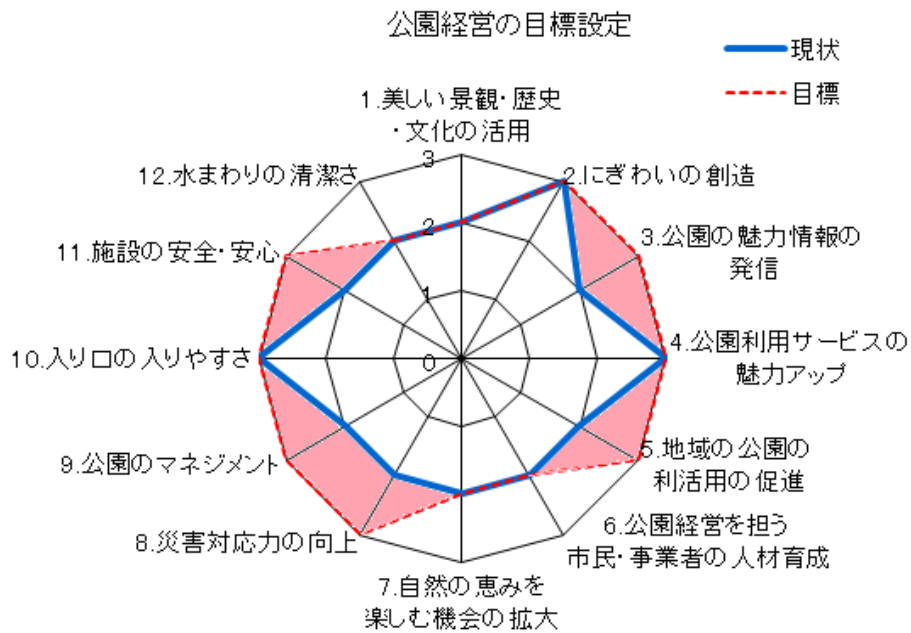
(2)瑞穂公園のイメージ



- ・ 充実したスポーツ施設と各施設の有機的なつながり
- ・ いつでも、だれでも運動ができる場（スポーツをするきっかけづくりから競技まで）
- ・ ブロックごとの緑がネットワークを形成し、都市の中のまとまった緑を形成
- ・ 山崎川の水辺とサクラの名所

2-2. 取り組みの方針

(1) 公園経営の目標設定



めざす公園像に取り組むための方針に沿って公園経営の目標を設定し、今後10年間に重点的に取り組む項目は、下表のとおりである。

めざす公園像のための取り組み項目	景観形成		運営管理				連携協働			維持管理		
	1	10	2	3	7	9	4	5	6	8	11	12
めざす公園像のための取り組み方針												
市民がより安全・安心に利用できる施設として整備することにより、多くの市民の利用に供する公園。												
広域避難場所として、災害時に市民がより安全安心に避難できる公園。												
全国大会・国際大会を積極的に誘致し、にぎわいを創出することにより、スポーツを核とした地域の活性化をさせることのできる公園。												

また、指定管理者制度のメリットを活かして、公園経営的視点に立った公園の管理を行うとともに、利用者や近隣住民の声を大切にしながら、安全・安心や環境への取組み等にも考慮して、効果的・効率的な管理運営を行う。

- 指定管理者との関係

指定管理者が管理している公園については、以下のことを踏まえつつ、指定管理者の創意工夫による管理を行う。

(2)テーマ別特性

【都市緑化の普及・啓発】

南児童園、東児童園、北児童園、緑陰広場等において、樹名板の設置、運動場の資産を活用した芝生による緑化、木の実ひろいや野鳥観察等の体験を通じて、都市緑化の普及・啓発の場を創出する。

【健康増進】

ウォーキングコースや無料開放施設を利用して、身近なスポーツ施設としての活用促進を図る。

【歴史資産の活用】

瑞穂第2古墳、大曲輪貝塚、下内田貝塚等の歴史資産について情報発信し、来園者の知的好奇心を刺激する。

【山崎川との連携】

「二級河川山崎川水系河川整備計画（平成22年1月）」において、河川環境の整備と保全に関する目標として、山崎川の中流部においては、「水面と河川沿いの木々の調和した、良好な景観が保全、形成されるよう河川の整備において配慮する」とされており、景観についても瑞穂公園の緑との連携を考慮する必要がある。

また、豪雨時の親水空間における安全性に配慮しつつ、川辺の散策路や水辺に近づく施設の整備等、日常生活の中で市民が水辺でふれあうことができる川づくり、および沿線の植生の保全、育成や眺望ポイントの整備など、地域住民に親しまれる河川環境の維持・保全を目指す川として、瑞穂公園とのつながりを強化し、相互利用を高める。

(3)維持管理の方針

利用者が安全かつ快適に利用できるように建物および建築設備等の性能および状態を、常時適切な状態に維持管理する。施設内の点検を行い、異常あるいは破損箇所を発見した場合は、直ちに修繕を行う。

(4)景観形成の方針

山崎川、サクラ、遺跡、園内の豊かな樹林等の資産を活用し、都市において自然環境と調和した公園の特性を生かした景観管理を行う。

(5)運営管理の方針

都市型運動公園として利用者の満足度を高め、多様なニーズに応えるため、利用者等の声を聴取し、反映できるものは積極的に取り入れていく。

【広報】

新たな広報ツールの開発、パブリシティの活用を検討し、積極的な最新情報の発信に努める。

(6)連携・協働の方針

区役所等の公的機関や地域スポーツ団体と連携協力して、地域スポーツの振興に努める。

(7)災害対応の方針

「名古屋市地域防災計画」「震災に強いまちづくり方針～名古屋市防災都市づくり計画～」に基づき、広域避難場所としての機能を確保する。

火災、地震、風水害等の防災・災害対応マニュアルをあらかじめ作成し、発災時には、利用者の安全確保・避難誘導に努める。

防災・安全交付金を活用した再整備を行い、スポーツ観戦者が帰宅困難者となった場合に備えるなど、災害対応力の向上に取り組む。

(8)災害対応の方針

防災・安全交付金を活用し、老朽化した施設の再整備を推進するとともに、屋内競技を実施することができるように、新たに体育館を整備する。